

手さげバッグ

でき上がり寸法 / 42×27×6cm



★材料

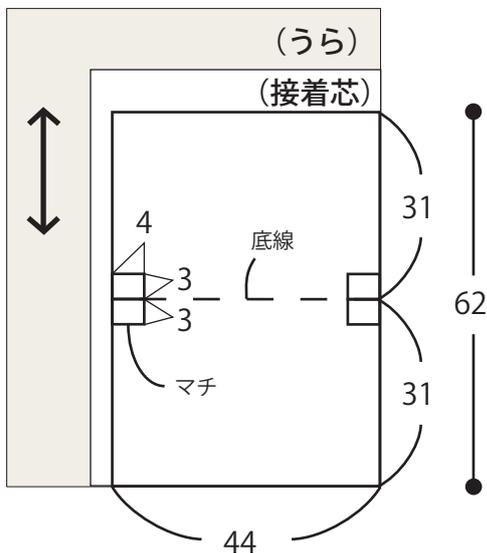
- A布 (表布) 45×65cm
- B布 (裏布・底布) 90×65cm
- 接着芯 45×65cm
- アクリルテープ (2.5cm 幅) 64cm
- ワッペン (お好みで) . . アイロン接着タイプ
- レース (お好みで) 88cm

- *単位は全て cm です。
- *数字は全て縫い代1cmを含んでいます。
- * ←→ は布目の“たて方向”を表しています。

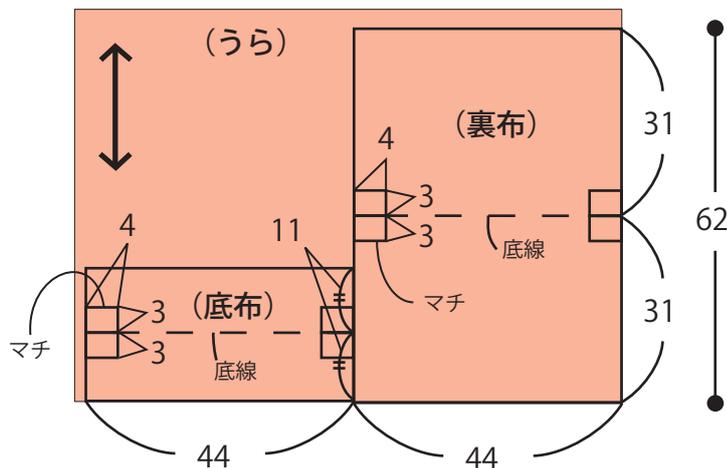


★裁断図

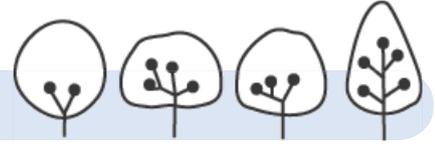
A布



B布



★作り方

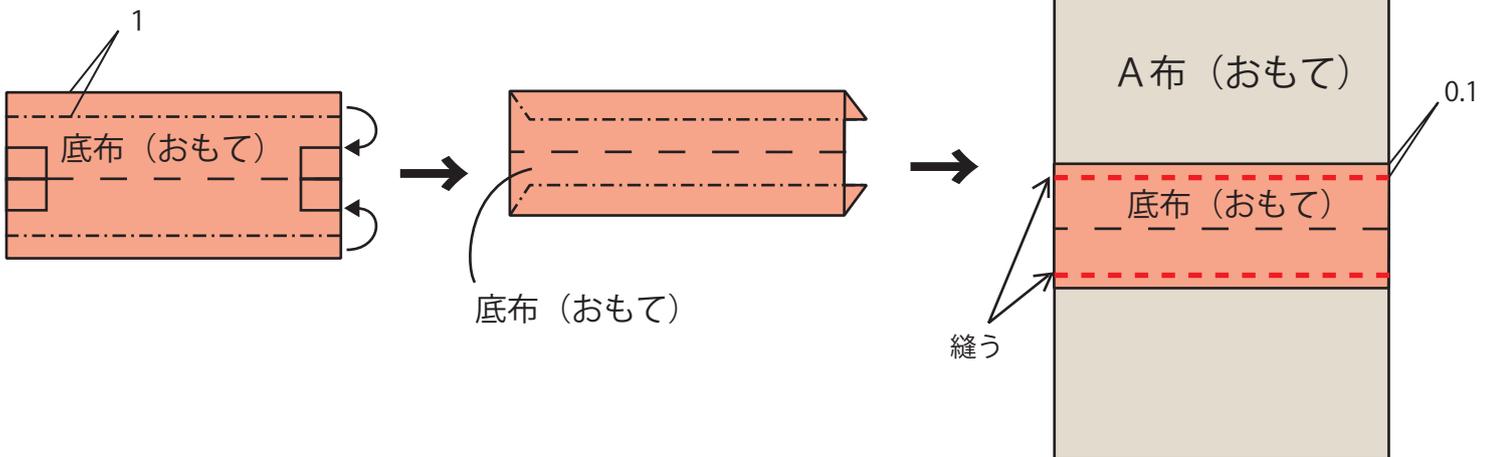


1.A布に接着芯を貼る

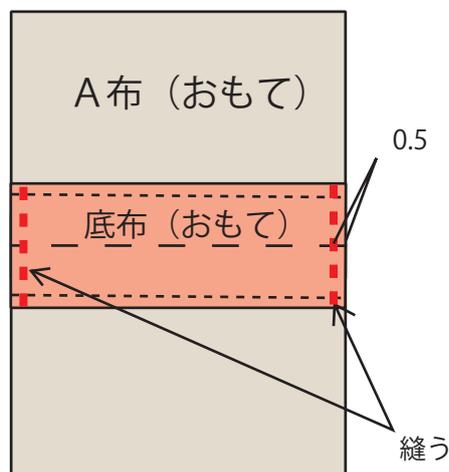
2.A布とB布を裁断図のように裁断する

3.底布を縫いつける

①底布の上下の縫い代をアイロンで折り、底線を合わせるようにA布の上に重ね、布端から0.1cmのところを縫う。

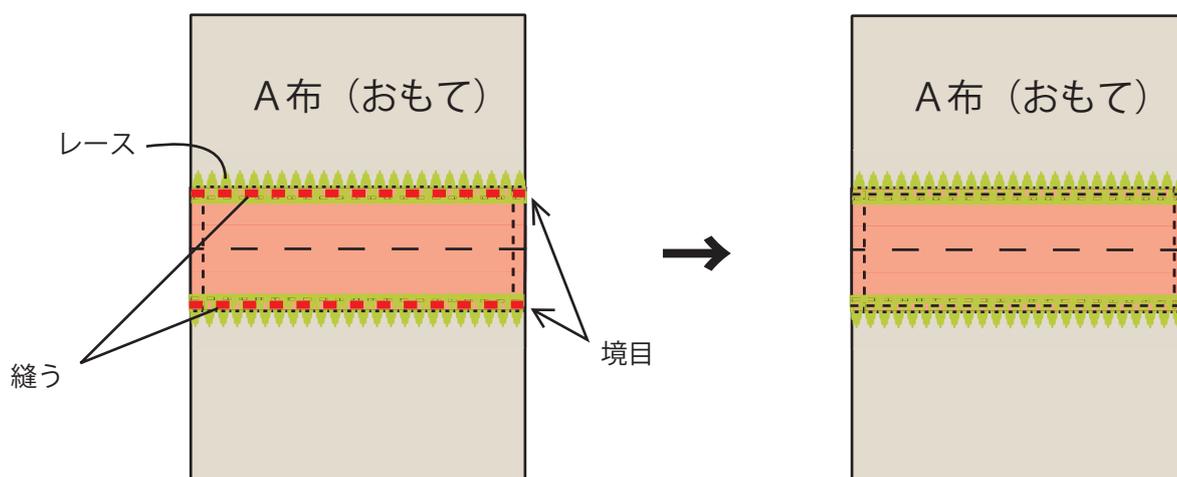


②脇の縫い代の端から0.5cm内側を縫う。

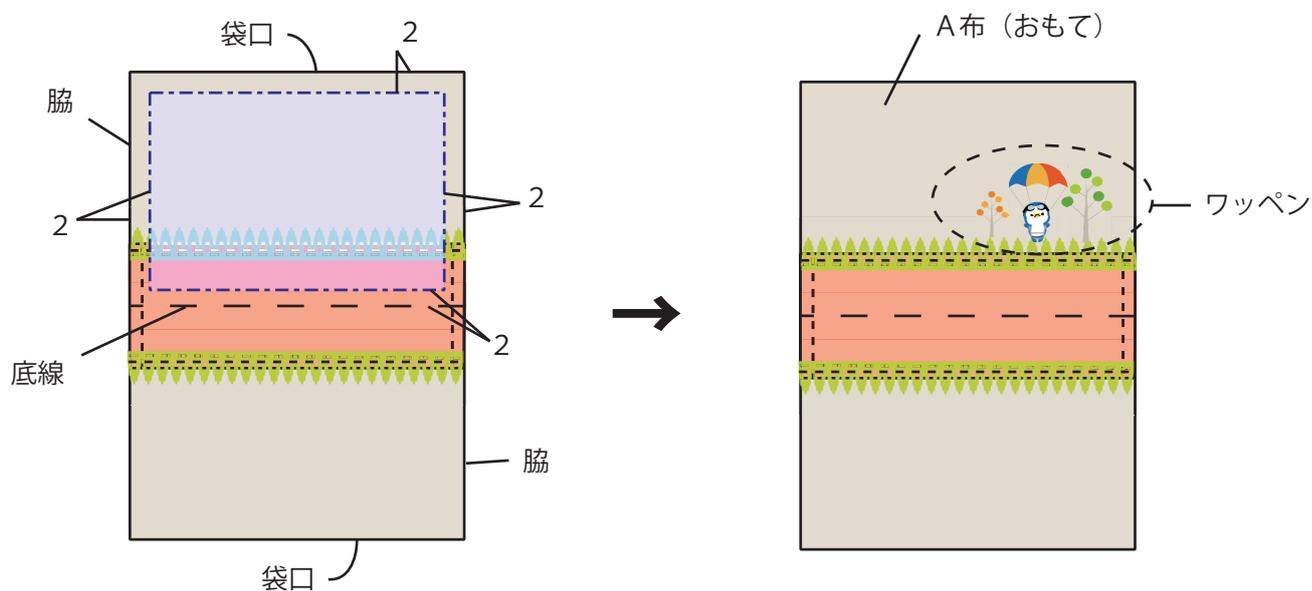


4. レースやワッペンを付ける (装飾をしない場合、5. へ進む)

① レースを 44cm に2本切り、A布と底布の境目に重ねて縫う。



② ワッペンを貼りたい場所に置き、一度まち針で留めてからしつけ糸で仮止めし、まち針を外す。ワッペンの上にあて布を置き、アイロンをあて押しつける。

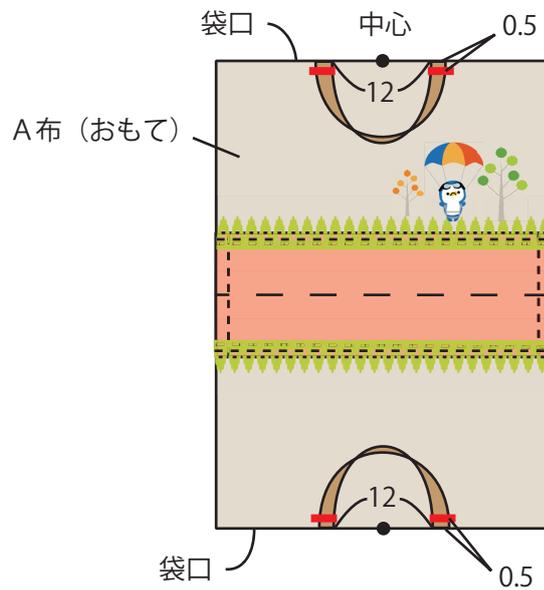


※  はワッペンの貼れる範囲
ワッペンは底線、脇、袋口から **2 cm 以上**
内側に貼ろう！



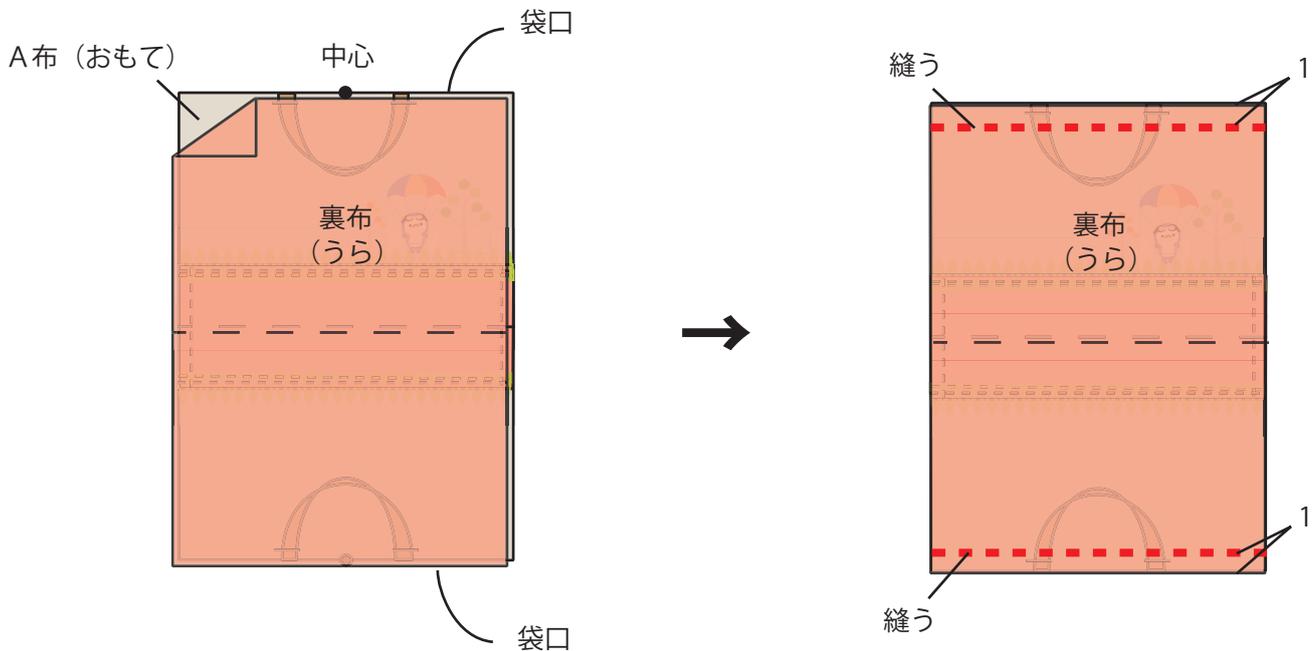
5. 持ち手を付ける

アクリルテープを 32cm に2本切り、A布の袋口の縫い代端に持ち手の端を合わせ、端から 0.5cm 内側を縫う。



6. 裏布を付ける

A布と裏布を中表に重ね袋口から1cm 内側を縫う。



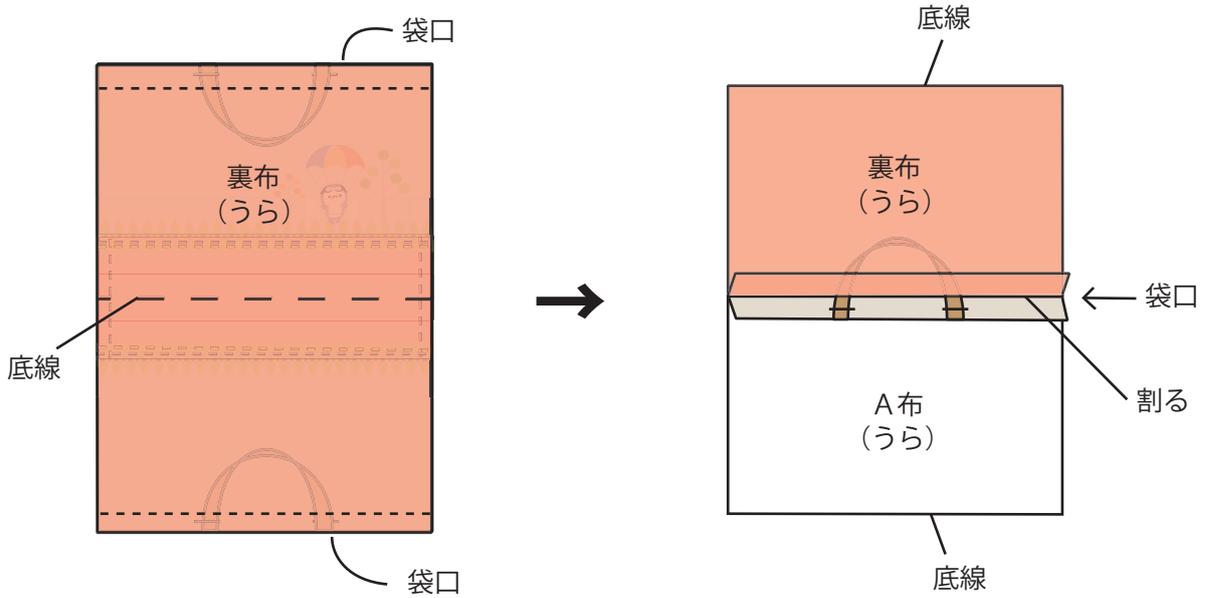
※中表

2枚の布の両方の表面が内側になるように合わせること。



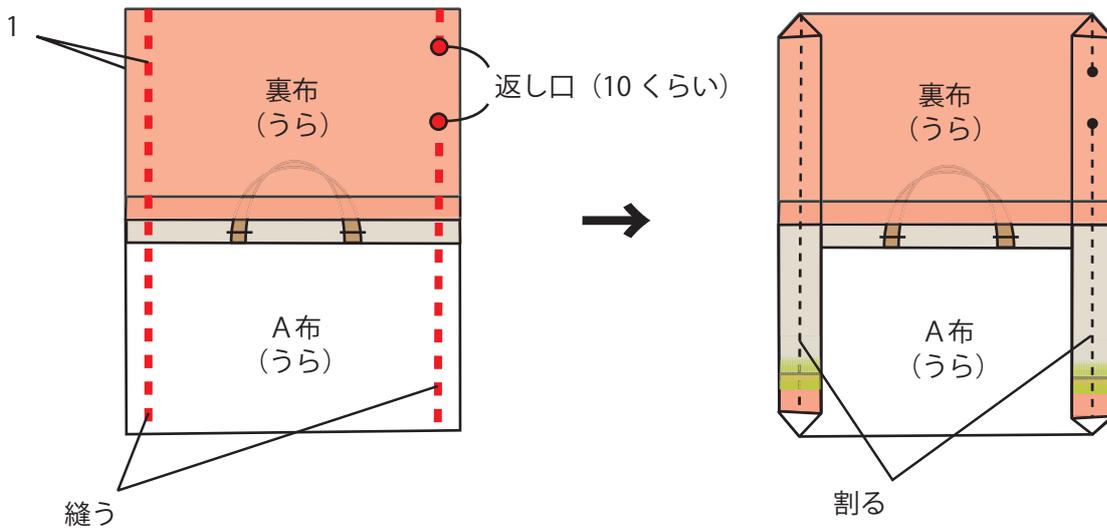
7. 脇線を縫う

①A布と裏布をそれぞれ、底線で二つ折りにし、袋口の縫い代を割る。



②A布と裏布の脇線を続けて縫い、縫い代を割る。

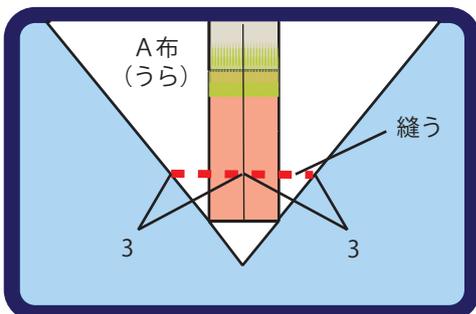
この時、裏布側の片側の脇線に返し口を10cmほど残す。



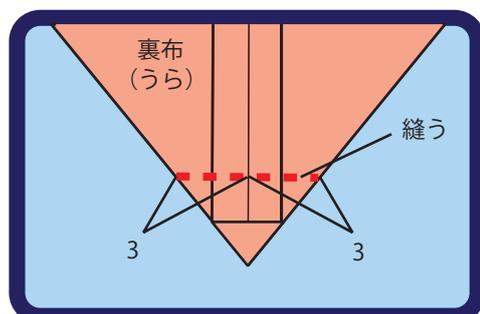
8. マチを縫う

脇線と底線を合わせて袋の角を三角に折り、マチの線を合わせて縫う。(裏布も同様に)

A布のマチ

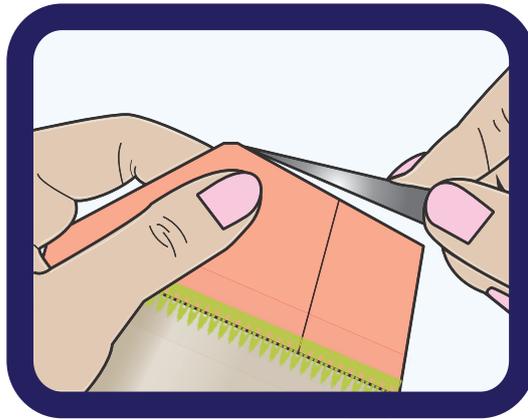


裏布のマチ

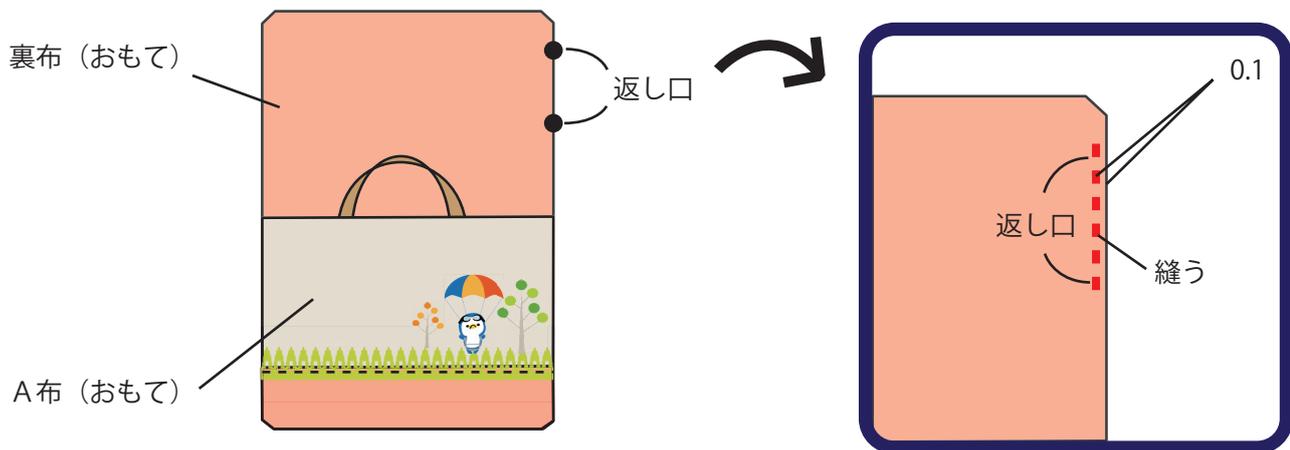


9. おもてに返す

- ①返し口に手を入れて、袋を表側にひっくり返す。
- ②目打ちなどの先のとがったものでマチの角を整える。(裏布も同様に)

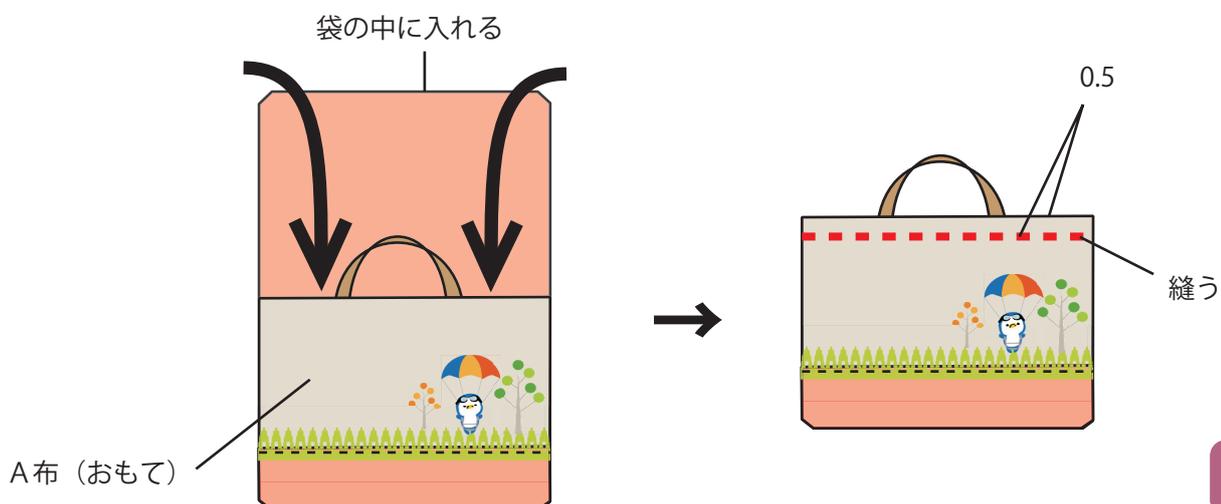


- ③裏布の返し口を重ねて、端から 0.1cm 縫う。



10. 入れ口を縫う

A布の内側に裏布を入れ、袋口をアイロンで整えて布端から 0.5cm 内側を縫う。



完成!